

2015年 理学部 第4問


 数理  
石井K

4 (新課程履修者)  $a > 0$  とする. 複素平面上で等式

$$|z - ia| = \frac{z - \bar{z}}{2i}$$

を満たす点  $z$  全体の表す図形を  $C$  とする. ただし,  $i$  は虚数単位で,  $\bar{z}$  は  $z$  と共役な複素数を表す.

- (1)  $z = x + iy$  と表すとき,  $C$  の方程式を  $y = f(x)$  の形で表せ.  
 (2)  $C$  上の点  $z$  で

$$|z - (2 + 2i)| = |z + (2 + 2i)|$$

を満たすものを求めよ.

$$(1) |x + i(y - a)| = \frac{x + iy - (x - iy)}{2i}$$

$$\therefore \sqrt{x^2 + (y - a)^2} = \frac{2y \cdot i}{2i}$$

$$\therefore \sqrt{x^2 + (y - a)^2} = y$$

$$\therefore y \geq 0 \text{ かつ } x^2 + y^2 - 2ay + a^2 = y^2$$

$$\therefore \underline{y = \frac{x^2}{2a} + \frac{a}{2}} //$$

(2)  $|z - (2 + 2i)| = |z + (2 + 2i)|$  を満たす  $z$  は,

点  $2 + 2i$  と点  $-(2 + 2i)$  から等キヨリにある点であるから.

$z = x + iy$  と表すと,  $x, y$  は,  $y = -x$  の関係をみたす.

これを (1) で求めた式に代入して,

$$-x = \frac{x^2}{2a} + \frac{a}{2} \Leftrightarrow (x + a)^2 = 0$$

$$\Leftrightarrow x = -a$$

このとき,  $y = a$

$$\text{よって, } \underline{z = -a + ia} //$$

